

# 令和2年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

## 第1講 開講式、オリエンテーション

講師及び担当：名和田学長、山路コーディネーター、藤村（担当）

日時：令和2年7月18日（土） 場所：緑区市民活動支援センター（みどりーむ）  
参加者：6期生（8）、学長、コーディネーター、ナビゲーター（5）、  
緑区社会福祉協議会（2）、サブナビゲーター（2）、緑区長、事務局（5）  
合計：25人（Zoom参加：14名）

### ●学習目標

1. スクールの開講の主旨を理解する。
2. 全6講の講座の流れと内容を理解する。
3. 横浜市における市民活動の事例を知る。
4. 自己紹介を通じて仲間との交流を深める。



開講式の様子

### ●内容

1. 開講の基調講演「地域活動・市民活動への誘い」  
～横浜の豊かな市民社会にあなたも参画しよう～  
◇自治会、地区別計画、助成金等の活動の基礎的な知識の習得  
◇行政との協働による具体的な市民活動の事例説明
2. 自己紹介  
◇6期生一人2分で自己紹介（体調不良で欠席の6期生もZoomで自己紹介した。）
3. オリエンテーション  
◇地域づくりの着眼点と基本的な考え方  
◇全6講の全体の流れと、目的や学び方、「夢プラン」策定の手順について説明  
◇横浜市の市民活動の実例集「ザ・まち普請」の紹介と斡旋



山路コーディネーターによる  
オリエンテーション



実験的試み  
会議アプリ「Zoom」による配信

6期生の「学びのふりかえり」より（抜粋）



◆講座の中で講座の中で「印象に残ったこと」、「今後生かしていきたいこと」などをご記入ください。

- 数年前から、3rd プレイス（学校や職場、家庭、以外の第三の居場所）的なサロン（カフェ）作りに興味があり、その準備を出来る範囲でやってまいりました。自分の考えていたものと、（学長講話にあった）『コミュニティカフェ』と、重なる部分が多く有り、大変参考になりました。
- （学長講話の中で）横浜市民の自治会加入率が高いのは驚きでした。自治会というと地方のほうが活発なイメージでしたが、もしかしたら退職後の方々が、新しい活躍やつながりの場を求めて、自治会に入られているケースも多いのかな？と思いました。
- 参加者の方々の自己紹介を拝聴して、多様な方が集まっておられることに、とてもワクワクしました。いろんな方と、おいしいものを食べながら、ゆっくりお話しをしてみたいです。
- 緑区近くにはズーラシアや花と緑の里など恵まれた環境があること、緑区の活性化に向けて一歩、あゆみ出した気分です。
- 山路コーディネーターのオリエンテーションで「自分のできることに魂を込めて・・・」という部分が大変、心に響きました。
- 今後、高いレベルを共有できるか不安。「話術の向上」を望みます。
- 地域社会、市民社会、横のつながりが大切。情報の共有、沢山学ぶことがあると思う。
- 「出会い、学び、成果」を楽しみながら自分に出来る事を考えていきたいと思います。
- 名和田先生の講義で横浜市の市民活動の様子が理解できて良かった。活動中のナビゲーターやサブナビゲーターにいろいろ相談にのって頂けそうで楽しみです。



#### コメント欄（担当ナビゲーター：藤村）

- とにかく、このコロナ禍の中で無事に出来た事は評価しても良いと思う。
- コロナ禍の影響で、例年に比べて7講から6講とし、一回の講義時間も縮小。そして1か月遅れて7月の開講、受講生も10名と約半数で開講した。全員の検温、マスク着用、設営も間隔を取り、感染症予防に注意した。
- 今回はZoomを用いたオンラインを導入し、人数制限で会場に来られない修了生や、体調不調の受講生にも参加してもらった。Zoomについては、ホストの重要性和難しさが判った。今年度ならではの評価につながると思う。
- Zoomで共有する講師のパワーポイントの著作権について今後は注意していきたい。今までは出席者には紙ベースで資料を提供していたが、Zoom配信の際のパワーポイントの取扱いを考えていきたい。
- 第1講で受講生の自己紹介を聞いた。目的がある程度、見えている人やこれから考える人など思いはさまざまである。今後は活動が具体的になるようにアドバイスをしていきたい。
- 辛口のコメントもあった。本スクールの主旨である「出会いの場」「学びの場」「成長の場」を理解してもらえるように接していきたい。
- 満足度は88.5%と概ね良好であった。